

さいたま 道の駅 めぐり手帖

vol.1

水辺に広がるやさしい里の風景

童謡のふる里おおとね

加須市大利根の田園に囲まれた、道の駅「童謡のふる里おおとね」は、水郷の自然と地元食材を生かした味わい、そして童謡文化が調和する、地元愛あふれる穏やかな時間を過ごせる場所です。周辺には夏から秋にかけてはホテイアオイが水辺を彩り、訪れる人の目を楽しませています。



店長のおすすめポイント

当駅では田園地帯のため、地元野菜が足りず、店長が毎朝市場で仕入れた新鮮な食材をお得に提供しています。また、年に数回開催するプロ演歌歌手のコンサートや加須市観光大使のステージパフォーマンスは、毎回多くの来場者で賑わい、人気イベントのひとつとなっています。

童謡文化ゆかりの地

この地域は、童謡文化とも深い関わりがあります。加須市大利根地区は、「たなばたさま」「野菊」など数多くの童謡を残した作曲家・音楽教育家の下總皖一しもおさ かんいちのふる里として知られています。

道の駅の敷地内には下總皖一の銅像が設置されており、地域の文化を静かに伝えています。



関東「道の駅」スタンプラリー

地域の恵みが並ぶ農産物直売所（農業創生センター）

農産物直売所には、肥沃な土壌と豊かな水に育まれた「大利根産コシヒカリ」をはじめ、地元農家が育てる「いちごとまと」や季節ごとに並ぶ朝採れ野菜など、どれも地元の暮らしを感じられる品々である。旬の味覚を求めて訪れる人も多く、季節ごとの賑わいが見られます。



農村レストラン わらべ



地元産の野菜を使った料理をはじめ、大利根産コシヒカリや加須産のそば粉・小麦を取り入れた定食を提供しており、健康志向の「黒米うどん」は素朴で温かみのある味わいが魅力です。

また、毎月 25 日は「うどんの日」として、うどんの名称が入った全メニューを対象に、会計時に現金 50 円のキャッシュバックが行われています。

水辺に広がるホテイアオイの景色

道の駅の裏手に広がる水辺では、例年 7 月下旬からホテイアオイの群生が咲き始め、お盆を過ぎた頃から見頃を迎えます。水面を覆う紫の花はまるで絨毯のような美しさで、写真愛好家にも人気です。

運が良ければ、花々の間を歩く白いサギの姿が見られ、紫の花とのコントラストが静かな水辺の風景をいっそう引き立てています。



道の駅 童謡のふる里おとね

- 所在地：加須市佐波 258 番地 1
- TEL：0480-72-2111
- ホームページ：<http://komekomeclub.jp/>
- 営業時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時
- 定休日：直売所・レストラン 第 1・3 水曜日、年始(1 月 1 日～1 月 4 日)
- アクセス：東北自動車道 加須 IC / 羽生 IC から車で約 15 分
- 駐車場：普通車 78 台・大型車 16 台・身障者用 5 台

